

令和元年 6 月 28 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では好天に恵まれ、皆伐、間伐とも順調だが、気温上昇のため虫害材が見え始めている。スギ小径材、柱材、ヒノキ土台材には引き合いはあるが、荷がダブツキ気味で価格は弱含みで推移。スギ 4m、3.65m の並材は径が太くなるほど札が入らず、売りづらい。出材増と虫害時期が重なり、また大型工場には手持ち在庫があるため買い気も弱く、原木価格は弱気配となっている。

群馬県でも原木の出材は順調で、価格の下落傾向が続いている。虫害の心配が出始めた。操業は順調だが、受注は全体的に少なく、とくに地場からは低調。オリンピック関係の土木用材の仕事に陰りが見え始めている。製品在庫は羽柄材が全体的に品薄だが、バタ角や栈木等の土木用材は少し荷余り傾向。構造材も在庫が増え始めている。製材品価格は一段落して値下げ傾向にある。

2. 米材

米加産地の出材は順調で港頭在庫は潤沢な水準。カナダ側は徐々に乾燥し始め、BC 州内陸部では既に山火事が発生し、製材工場の稼働に影響を及ぼしている。ウェアハウザー社の 6 月積み対日価格(推定)は IS 級\$850、前月比\$10 ダウンで決着し、2 ヶ月連続の値下がりとなった。日本国内の米マツ平角の競合品である欧州 RW 集成平角の先安感を考慮しての値下げとなった。米国製材品価格は 4 週続落。米国南部の工場新設・増設による増産が米国製材品の価格・需給に本格的な影響を及ぼし始めた。ランダムレングス紙発表の 15 種平均価格(5/31)は\$325/M で 5 月頭に比べ 7.9% のダウン。米国内の原木価格は下落傾向にあり、製材メーカーのオファーも弱含んでいる。SPF は各社減産や一時閉鎖を発表しているが、価格の下落に歯止めが効かない状況。

4 月の原木入荷量は 201 千 m^3 、1~4 月累計で 878 千 m^3 (前年同期比 2.8% 減)。出荷量は 218 千 m^3 、1~4 月累計で 861 千 m^3 (同 0.1% 増)、在庫は 184 千 m^3 に減少し、在庫率は 0.87 ヶ月となり、依然 1 ヶ月を下回った状態が継続している。国内の大手米材製材メーカーの製材廃業で他のメーカーに注文が流れ、稼働は順調である。5 月の東京木材埠頭の入荷は 19 千 m^3 (前月比 11.5% 増)、出荷は 22 千 m^3 (同±0%)、在庫は 51 千 m^3 (同 5.0% 減)。プレカット工場の受注も先行き好調なことから荷動きも同水準を維持するものと見られる。

3. 南洋材

サバ州の天候は乾季に入って伐採は活発だが、依然として原木輸出は禁止されている。サラワク州では一部河川の渇水による運搬の支障は5月下旬に解決。インドの貿易業者は総選挙の結果を受け買付を再開。PNGからのインド向けが不足してサラワクに回帰する動きも見られ、価格は反発してきた。PNGでは新首相が選任されたが、同国の木材産業に外資系企業は不要とのコメントもあり、今後の政策を注視する必要がある。6月予想の原木入荷16千 m^3 、出荷14千 m^3 、在庫量は10千 m^3 、製材品入荷は30千 m^3 。フリー板市況が非常に悪い。

4. 北洋材

シベリア主要シッパーのアカマツ原木減、品質低下は変わらない。アカマツ野縁の上級グレードの対日供給量は依然、低水準である。シベリア／極東とも中国向け原木、原板輸出は不振で価格は低迷中。アカマツ現地挽き完成品は産地ジリ高、流通在庫は皆無で国内価格は毎月ジリ高が続いている。現地挽き原板は完成品同様、生産が回復せず、契約消化が遅れている。シッパーは引き続き強気姿勢。国内完成品は各メーカーとも原板入荷が遅れており、注文には全て応えられない状況。更なる値上げの可能性が高い。6月予想の原木入荷、出荷とも10千 m^3 、在庫は18千 m^3 。製品入荷(東京+川崎)は19千 m^3 、出荷20千 m^3 、在庫34千 m^3 。

5. 合板

国産材原木は東北カラマツが高値張り付きのまま、スギは安定しており、大きな変化はない。ロシア材は強含み推移。米材は米国内の市況が悪く、先行き不透明。南洋材は徐々に値を戻している。

4月の国内合板生産量26.9万 m^3 のうち針葉樹合板は25.7万 m^3 となった。出荷量は25.8万 m^3 で在庫量は14.3万 m^3 。在庫量のうち構造用合板は11.5万 m^3 で前月から微減。針葉樹合板の価格は5月が比較的に活発な荷動きであったため、スポットでの極端な安値もなくなり、価格の引き締めが強くなると見られる。

4月合板輸入量は23.7万 m^3 でマレーシア、インドネシア、中国とも3月より増加。とくに前月少なかったマレーシアが9.5万 m^3 と今年最高の入荷となった。産地インドネシアの天候は落ち着いているが、原木が低価格なことや断食月に入ったことで出材は低調である。マレーシアでは日本向けの受注が低下し、原木価格の調整局面が続いている。伐採抑制を示唆する業者も一部

に見られるが、今のところ原木在庫に問題はない。

先行き、針葉樹合板は連休前からの堅調な荷動きでメーカー在庫が減っているため、価格の引き締まりが強くなっていくと見られる。輸入合板は引き合いが低調なことから大幅な値戻しは期待できないものの、徐々に値上がりしていくものと予想される。

6. 構造用集成材

6月ラミナ入荷は減少。国内集成材メーカーは在庫増により4月積みは契約をスキップしたところが多い。中東、中国、北米の買いが悪く、EUから日本向けの販売強化が行われている。4/1より関税が再度下がり、ラミナ価格も値下がり基調。RW梁は輸入品が5万円/m³台後半、国内メーカー品は6万円/m³。スポットで5万円台後半も。WW柱は1,880円～1,900円/本で横ばい。ラミナの値下げが見られるが、今の市況では人件費、配送費増のコスト転嫁ができず値上げが必須になっている。スギ集成柱は不足感があり、値上げの話も聞こえる。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は順調だが、FITの制度改革により未利用材の囲い込みが厳しい。解体材の発生量は多く、余剰感が強い。各社操業のやり繰りに苦慮。製紙用チップは大手工場の火災事故による受入停止、6～7月の大型定期修理等の影響もあり、消費量が大幅に減少している。燃料用チップは製紙・バイオマス発電とも大型定期修理があり、受入量を大幅に制限しており、消費量は大幅に減少。燃料用チップは各社とも余剰感が非常に強く、製品、在庫置場の確保に苦労している。受入制限、受け止め等の工場が多い。

8. 市売問屋

製品市場では連休明けに期待していたが、細かい注文材に追われている。スギ、ヒノキともに柱KD材の荷動きが悪い。外材も同様である。国産材造作材が本当に売りづらくなっている。市売当日のセリにも活気が見られない。外材造作材のスプルース、ピーラーも荷動きが悪い。

9. 小売

荷動きに大きな変動はないが、人手不足で配送が忙しい。スギ、ヒノキとも品薄感はなく、出荷量も安定しており、価格は保合い。米マツKD梁材、割材はやや軟化し弱保合い。米ツガ材の品薄はほぼ無くなったが、荷動きが良くなり価格は横ばい。欧州材は一部に品薄感があるが、全体的に順調に動いている。ロシア材は特に3m材の品薄は深刻で価格は強い状態が続いている。針葉樹合板の荷動きは比較的順調だが、年度末に一部で安値が出た影響もあり、価格を立て直している状況で、価格は横ばい。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和元年6月28日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	↘
			ヒノキ柱材(3m)2等	↘
			ヒノキ中丸太(4m)2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↘
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↗
			アカマツ(KD)16×40上級	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→